

●端子配列と結線図

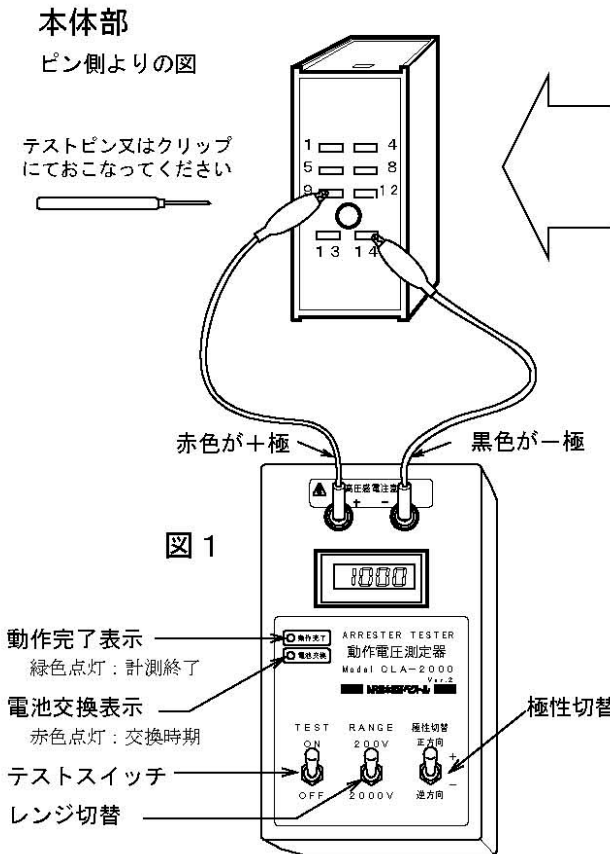
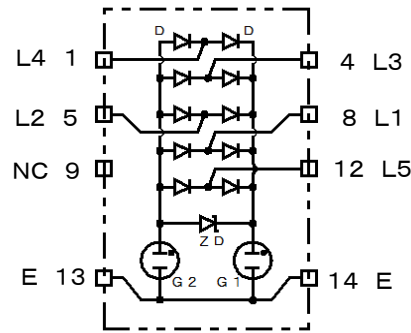


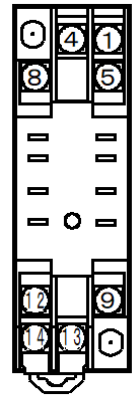
図 1

●本体内部の回路図



D:高耐圧ダイオード
ZD:シリコン式サージ吸収素子
G1 G2:ギャップ式サージ吸収素子

ソケットの端子配列



●点検前のご注意

- ① 安全のため配線されたソケットより外しておこなってください。
- ② 感電にご注意ください。
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ メータのサンプリング周期により読み取り誤差があります。
2~3回程度おこなってください。

●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。
交換までの雷サージ対策となります。

チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。

1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。

TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●素子の良否判定

- ① 測定する素子(ZD, GやZ)の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えてください。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にしてください。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続してください。
- ④ TESTスイッチをONに投入してください。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。*1

<5線式制御回線用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/ー極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
接地間 G1	L1/E	8/14	2000V	DC210-455V	オープン
接地間 G2	E/L1	14/8	2000V	DC210-455V	オープン
線間 ZD	L1/L2	8/5	200V	DC25-31V	短絡
	L1/L3	8/4	200V	DC25-31V	短絡
	L1/L4	8/1	200V	DC25-31V	短絡
	L1/L5	8/12	200V	DC25-31V	短絡